



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。

IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の[「デュー・プロセス・ハンドブック」](#)に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

ISSB は、[2023年7月27日](#)にバーチャルで会議を行った。

関連情報：

- 原文は[こちら](#)
- ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

目次

基準の適用

- [ISSB 基準の的を絞った拡充の研究－今後の方向性（アジェンダ・ペーパー9）](#)

基準の適用

ISSB 基準の的を絞った拡充の研究－今後の方向性（アジェンダ・ペーパー9）

ISSB は、2023年7月27日に会議を行い、情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」において基盤となる作業（foundational work）として説明されている活動の一つ（具体的には、ISSB 基準の的を絞った拡充の研究）の今後の方向性について議論した。

ISSB は、ISSB スタッフに対して、気候関連のリスク及び機会に関するいくつかの自然及び社会の側面に関する情報を開示するために、企業が IFRS S2 号「気候関連開示」におけるいくつかの要求事項をどのように適用する可能性があるかについて説明し例示するための教育的資料を開発するように指示した。

14名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。

次のステップ

ISSB は、今後の会議で教育的資料について議論する予定である。